

## 第5・6学年 道徳学習指導案

日 時 平成20年9月26日(金) 5校時  
対 象 5年生 男5名 女4名 計9名  
6年生 男4名 女2名 計6名  
指導者 第5・6学年担任

- 1 主題名 とうとい命 [生命尊重3-(2)]
- 2 資料名 母とながめた一番星(出典:学習研究社5年「みんなの道徳」)
- 3 主題設定の理由

### (1) 価値について

第5学年及び第6学年の指導内容3-(2)は、「生命がかけがえのないものであることを知り、自他の生命を尊重する。」となっている。これは、生きることの尊さを知り、自他の生命を尊重して力強く生きようとする心を育てるとともに、生命に対する畏敬の念を育てようとする内容項目である。この内容項目は第1学年及び第2学年の「生きることを喜び、生命を大切にすることをもち」、第3学年及び第4学年の「生命の尊さを感じ取り、生命あるものを大切にすること」を受けたものであり、中学校において、3-(2)「生命の尊さを理解し、かけがえのない自他の生命を尊重する。」に発展していく。

すべての道徳的価値は、生命が存在し尊重されて成り立つものである。よって、自他の生命の尊さを実感し、慈しむことのできる心情や態度を育成することが大変重要である。また、生命に対する畏敬の念をもたせ、生きることの尊さやすばらしさを自覚できるようにすることが大切である。

高学年の段階においては、家族や動植物などとの身近な環境における生活経験の深まりや抽象的な思考ができる発達段階であることから、生命の誕生から死に至るまでの過程を理解することができる。これらの理解をもとに、生命のかけがえのなさを自覚させていくことが大切である。個々の生命は一つしかなく、家族によって支えられてきたかけがえのないものである。これらのことに気付かせ、生命の重みを実感させることが大切であり、児童が生命を見つめ、輝かせていこうとする気持ちをもたせることが生命尊重の精神につながっていくものと考えられる。

### (2) 児童について

子どもたちは、これまでの道徳の学習をはじめキャップハンディ体験や心肺蘇生法の学習、また教科における動植物の飼育栽培など、生命が大切なものであることは理解してきている。しかし、下学年や友達とのかかわり方や投げやりな言動などを見ると、それぞれがかけがえのない命をもっているという意識が十分に育っていない。

そこで、自分や他の命が誕生したときの様子や家族の思いに気付く学習を通して、一人一人の命は深い愛情によって支えられてきた大切なものであること、そして、力強く自分を輝かせようとするのが命を大切にすることにつながることを感じさせ、自他の生命を尊重する心情を高めたい。

### (3) 資料について

主人公の恵子は、いつも仲よくしていた友達に仲間はずれにされたことから深く傷つき、家を飛び出してしまふ。死んでしまいたいという思いさえ浮かんでいたとき、追いかけてきた母親から恵子が誕生するまでの思いや家族の愛情についての話を聞き、生きていくことの幸せやこれからの自分のあり方について深く感じ、新たな思いをもつという内容である。

母親の気持ちを通して生命の尊さに気づき、それを大切にしようとする心情を育てることに適した資料である。

(4) 研究との関連

	研究内容 1	研究内容 3
	体験活動を生かした指導の工夫	協力的な指導を取り入れた授業展開
具体的支援・指導	価値への深化、主人公への共感を深めるため、産婦人科医院での体験活動を位置付ける。	価値の把握、深化を促すため、家族の手紙を読んだりゲストティーチャーの話の聞いたりする。

(5) 指導にあたって

事前の活動において、総合的な学習による産婦人科医院での体験活動を行い、胎児の観察や新生児との触れ合い、また、誕生を喜ぶ母親との会話を通して、命の誕生の尊さや家族の深い愛情に対する思いをもつことができるようになってきている。

気づく段階では、産婦人科医院での体験活動を想起させ、学習への意欲付けや本時の価値への方向付けを図る手立てとしたい。

見つめる段階では、仲間はずれにされ死んでしまいたいとさえ思った主人公のつらい気持ちに共感させるとともに、母親から誕生するまでの様子を聞き、今生きていることのあるがたさや、家族に愛され支えられてきた命を大切にしようと感じた主人公の気持ちに共感させたい。

つかむ段階では、奇跡的に誕生し、愛され支えられてきた自分に気付いた主人公が、母と2人で一番星を眺めながら命の尊さを感じ、力強く自分を輝かせて生きようとする気持ちになっていくことに気付かせたい。

広げる段階では、家族から児童一人一人の誕生にあたっての思い出や、今に至るまでの思いを書いていた手紙を読ませることにより、自分たちも同じように愛され支えられている大切な命をもっていることを自覚させ、価値の深化につなげたい。

まとめる段階では保護者によるゲストティーチャーから出産のときの思いや子どもへの願いを話していただき、これまでの学習をより深くとらえさせ、命の尊さや自分を輝かせて生きようとする心情を高めたい。

事後の活動として、これまでの学習により深めた思いをもとに、老人介護施設や児童託児所において命と触れ合う活動を行い、生命尊重への意識を高めたい。

4 本時指導の位置づけ

事前の指導	本時の指導	事後の指導
○総合的な学習の時間 「命を感じよう」 産婦人科医院での新生児、妊婦との触れ合い体験活動を通して、生命誕生の喜びやその尊さを感じる。	○道徳 主題名 とうとい命 価値 [生命尊重3-(2)] 資料名 「母とながめた一番星」 ねらい 生命の尊さを理解し、命を大切に力強く生きようとする心情を育てる。	○総合的な学習の時間 「命を感じよう」 老人介護施設、児童託児所での触れ合い体験活動を通して、自他の生命を大切にする心情を高める。

5 本時の指導

(1) ねらい

生命の尊さを理解し、命を大切に力強く生きようとする心情を育てる。

(2) 展開

	学習活動と主な発問	予想される発言や心の動き	指導上の留意点
気づく7	1、産婦人科医院での体験活動を想起し、話し合う。  ○赤ちゃんに触れたり妊婦さんと話して、みなさん	・赤ちゃんがかわいかった。 ・お母さんが赤ちゃんをすご	・産婦人科医院での体験活動の様子をビデオで想起

分	<p>はどんなことを感じましたか。</p>	<p>く大切に思っていることがわかった。</p>	<p>させ、本時の価値への方 向付けを図る。 (研究内容1)</p>
見 つ め る	<p>2、資料を読んで感想を出し 合い、学習課題を確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・恵子は仲間はずれにされて つらかったらうな。</li> <li>・お母さんは心から恵子を大 切にしているんだな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料は事前に読ませてお く。</li> <li>・各場面状況を把握しやす いよう紙板書を提示して 感想を出させ、課題を設 定する。</li> </ul>
つ か む	<p>3、恵子の気持ちについて考 え、話し合う。</p> <p>○親友たちに仲間はずれに され泣いている恵子は、 どんな気持ちでしょう。</p> <p>○恵子は、お母さんから「家 族みんなの大切な希望な のよ。」と言われたとき、 どんなことを考えたでし ょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なぜ仲間はずれになるの。</li> <li>・私はどうすればいいの。</li> <li>・ひどい。死んでしまいたい。</li> </ul> <p>○お母さんは自分の命を危険 にして まで私を生んでく れたんだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・私のことをこんなに大切に 思ってくれていたんだ。</li> <li>・家族からずっと愛され支え られていたんだ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・恵子が、仲間はずれにさ れたことにより深く傷つ き、死んでしまいたい気 持ちになっていることに 共感できるようにする。</li> <li>・恵子の母が危険を冒して 産んだことや誕生したと きの家族の喜びを知った 恵子の気持ちに共感でき るようにする。</li> </ul>
28 分	<p>◎お母さんといっしょに一 番星を眺めている恵子は、 心にどんなことを思っ ているでしょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・つらいことがあっても死ぬ なんて考えてはいけない。</li> </ul> <p>・大切にされてきた自分の 命を大事にして、強く生き ていこう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・傷つき、死んでしまいた いとさえ思っていた恵子 が、自分の命の大切さに 気付き、強く生きようと する気持ちに変わって いくことをとらえさせる。</li> </ul>
広 げ る 3 分	<p>4、家族からの手紙を読み、 これまでの自分を振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分も大切にされ、祝福さ れて生まれてきたんだ。</li> <li>・私もずっと家族に支えら れ、大切にされてきたんだ な。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童一人一人が家族から の手紙を読み、自分も愛 され、支えられて大切に 育てられてきたことを感 じさせる。</li> </ul>
ま と め る 7 分	<p>5、赤坂小春さんのお母さん から、出産のときの思いや 子どもへの願いについての 話を聞く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支えられ大切にされている 自分の命を大事にしたい。</li> <li>・毎日の生活を元気に、強く 生きていこう。</li> <li>・一人一人が大切な命をも っているんだ。</li> </ul>	<p>「一人一人が尊い命をも って生まれ、支えられて育 ってきた。与えられた命を大 切にし、つらいことがあ っても強く、元気に生きて いってほしい。」という内容 のお話をいただき、生命尊 重の意識を高めていくため の手立てとしたい。 (研究内容3)</p>

## 母とながめた一番星

お母さんといっしょに一番星をながめている恵子は、心にどんなことを思っているでしょう

仲間はずれにされた恵子

- 絵
- ・ひどい、なぜ仲間はずれになるの。
  - ・私はどうすればいいの。
  - ・もう、死んでしまいたい。

母の話を聞く恵子

- 絵
- ・大変な思いで私を産んでくれた。
  - ・私のことをこんなに大切に思っていたんだ。
  - ・家族からずっと支えられていたんだ。

母といっしょに一番星をながめる恵子

- 絵
- ・つらいことがあっても死ぬなんて考えてはいけない。
  - ・大切にされてきた自分の命を大事にして強く生きていこう。

大切にささえられてきた命